

地域再生法に基づく地域再生計画の事後評価

松江市

1.地域再生計画の概要

計画名称	宍道湖西岸森と街とのふれあいゾーン創出プラン
作成主体	島根県 松江市
計画区域	松江市の区域の一部(旧宍道町)
計画期間	平成18年度～平成22年度
支援措置	地域再生基盤強化交付金(道整備交付金)
認定日等	平成18年3月31日
計画趣旨	松江市宍道町は、北は宍道湖に面し、南は山々に囲まれた自然環境に恵まれた地域である。平成5年にふるさと森林公園を開設し、自然とのふれあいを大切に、自然との調和のとれた地域振興を進めている。今計画において、森林資源の涵養のため林道の舗装整備を行い、森林整備の作業時間を短縮し効率化を図ると共に、幹線道路と接続する生活道路を整備し、歩行者の安全と交通利便性の向上を図り、宍道地域の自然とのふれあいを核に据えた地域振興を図ることで森と街とのふれあいゾーンを創出する。

2. 目標を達成するために行う事業(地域再生法第5章の特別の措置を適用して行う事業)の実施結果

施設名		事業期間	事業費(千円)	交付金(千円)	事業量	検証
市道						
荻田伊志見線	計画	H18-19	70,000	35,000	700.0	
	実施	H18-19	71,502	35,751	720.0	
蔵敷嵐橋線	計画	H18	20,000	10,000	240.0	
	実施	H18	18,498	9,249	244.0	
市道計	計画	H18-19	90,000	45,000	940.0	計画どおり実施
	実施	H18-19	90,000	45,000	964.0	
林道						
イモノヤ線	計画	18-22	48,960	16,320	2,903.0	経費を減額して実施
	実施	18-22	44,520	14,840	2,871.0	

3. 地域再生計画に記載した目標の達成状況

各目標の評価は実施値および検証結果を踏まえ、下記3段階で評価

達成:○ 概ね達成:△ 未達成:×

指標項目		指標内容	単位	基準値 (H18)	目標値 (H22)	実績値 (H26)	検証	評価
目標1	市道整備により、伊志見地区からふるさと森林公園までのアクセス改善	短縮時間	分	1	1	1	計画どおり目標を達成することができた。	○
目標2	市道整備により、宍道駅周辺からふるさと森林公園までのアクセス改善	短縮時間	分	1	1	1	計画どおり目標を達成することができた。	○
目標3	林道整備により、森林ふれあい創出便益の向上	短縮時間	分	6	6	6	計画どおり目標を達成することができた。	○

4. 目標を達成するために行う事業(その他の事業)の実施結果

事業名	計画内容	実施結果
公共交通体系の整備	市町村合併により、市域が拡大したことに伴い、新市民が一体感を享受することができるよう利便性の高い公共交通機関のあり方を検討するため、外部委員による検討委員会を開催している。この成果を踏まえ、バスを中心とした公共交通機関の整備をはかり、市内の及び宍道地域内の交通利便の向上を図る。	外部委員会を設置し、平成19年に「松江市公共交通体系整備計画」を策定し、それ以降市内及び宍道地域内の交通利便の向上を検討し、実施している。
グリーンツーリズムの推進	宍道地域のふるさと森林公園などの交流宿泊施設をグリーンツーリズムの拠点施設と位置付け、交流の促進と地域特産物の販売などによる地域活性化を図る。	宍道町地内において地域農産物直売場にて農作物を販売し地域活性化につながった。

5. 総合評価および今後の方針

3項目について目標値を設定し、いずれも達成できた。それにより移動時間の短縮が図られ、特に林道イモノヤ線の整備により林業の効率化による林業振興が図られている。また、市道についても山林等へのアクセス向上につながった。今後も更なる森林に親しみのもてるソフト・ハード両面での整備が今後の課題である。